

IP_SMPTE2110

Video over IP の IP コアである IP_SMPTE2110(SV1) は、ST 2110-10/20/30/40 に準拠した IP コアである。

IP_SMPTE2110 は、送信側の vEGSV(Egress-Core)と、受信側の vIGSV(Ingress-Core)の 2 タイプがあり、単体または複数で、また組み合わせて使用することができる。

また、SDI のチャンネル数や、Ethernet のポート数は自由に組み合わせることが可能である。

特長	
1.	SMPTE 2110-10/20/30 に準拠 ※40 は公開後に正式対応予定
2.	映像フォーマットは 4K/HD/SD に対応。 12Gbps の 4K 映像を QuadLink で 3G-SDI×2 チャンネルづつを 10GbE×2 系統で伝送することも可能
3.	Ethernet 回線は、10GbE/25GbE/40GbE (10GbEx4)/100GbE (25GbEx4)に対応
4.	SMPTE 2022-7(Hitless 対応)。 ・ Hitless は通常 2 回線で行うが、1 回線のみダブルパケットでも可能
5.	制御用インチャネル通信の対応が可能 ・ IP_SMPTE2059 (時刻同期のクロック再生)のヒットレス対応が可能
6.	IPv4 および IPv6 の対応が可能
7.	ARP の搭載が可能
8.	Ethernet 統計情報(受信パケット数、パケット廃棄数等)の管理が可能

